

令和6年度

総合型選抜 学生募集要項



インターネット出願について

本学では、インターネット出願を導入しています。
冊子による学生募集要項の配付は行いませんので、本学 Web サイトから閲覧またはダウンロードしてください。

令和6年4月入学者用の学生募集要項です。

愛知教育大学

目 次

アドミッション・ポリシー	1
入学者選抜日程の概要	2
1. 趣旨	3
2. 募集人員	3
3. 各課程・専攻・専修が望む学生像	4
4. 出願資格	6
5. 出願要件	7
6. 出願期間	7
7. 出願書類等	7
8. 出願手続	9
9. 受験票及び受験案内のダウンロード, 印刷	11
10. 入学者選抜方法	12
11. 障害のある入学志願者との事前相談	17
12. 免許教科の決定について	17
13. 合格者発表	18
14. 入学手続	18
15. 学生寮への入寮について	19
16. 入学辞退手続	19
17. 不合格者の再出願	20
18. 入学試験個人成績の開示	20
19. 安全保障輸出管理について	20
◆愛知教育大学へのアクセス (案内図)	21

アドミッション・ポリシー

愛知教育大学は、広域の拠点的役割をはたす教育大学として、人間理解と真理探究に努め、教育が直面する現代的課題への対応力を有し、子どもたちの未来を拓くことができる豊かな人間性と確かな実践力を身に付けた専門職業人の養成を使命としています。

学校教員養成課程では、幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校等の教員として活躍できる専門的な知識・技能を有し、教育諸課題に適切に対応できる教員の養成を目的としています。

教育支援専門職養成課程では、心理・社会福祉・教育行政等の専門的な知識と技能を有し、教育活動と子どもたちを支援することができる専門職の養成を目的としています。

そこで、次のような人を求めています。

- ◎子どもの成長に関わることに喜びを感じ、将来、教員や専門職として学校教育に携わる強い意欲を持つ人
- ◎確かな基礎学力を有し、関連する幅広い分野の学びに関心を持つ人
- ◎創造力や探究心を持つ人
- ◎多様な考えや価値観を持つ人を認め、自らの考えを表現しながら協働できる人
- ◎学校と地域社会との関わりに関心があり、地域の活動に参加することができる人

(入学者選抜の基本方針)

総合型選抜では、第1次選考(100点満点)として出願書類(本人記載資料の「志望理由及び学びの計画」, 「学びの履歴」, 出身学校の調査書)により評価します。それに続く第2次選考は、本学で実施する「高大連携講座」を受講した後の課題(以後、高大連携講座受講後の課題と記す。100点満点), AP試験(200点満点)と第1次選考の結果(100点満点)の合計点(400点満点)により評価します。なお、高大連携講座受講後の課題、本人記載資料及び調査書は、AP試験においても資料として用います。

◎知識・技能

学校教員として求められる基本的な資質・能力と実践的指導力の習得に必要な確かな基礎学力を有しているかを、高大連携講座受講後の課題、AP試験、「学びの履歴」及び調査書で評価します。

◎思考力・判断力・表現力

問題を発見し解決するために求められる思考力・判断力・表現力の基礎が育まれているかを、高大連携講座受講後の課題、AP試験、調査書で評価します。

◎意欲・関心・態度

学校教員として学校教育に携わる意欲のほか、子どもへの愛情と子どもの成長への関心と情熱、創造力・探究心をAP試験、「志望理由及び学びの計画」, 「学びの履歴」で評価します。

◎主体性・協働性

主体性と協働性をAP試験、「学びの履歴」, 調査書で評価します。

本学への入学前に学習しておくことが期待される内容

本学では、学校教員や教育支援専門職の養成にあたり幅広い教養と基礎学力等を身に付けていることを求めています。そのため、本学に入学するまでに学習しておくことが期待される内容は、以下のとおりです。

- ① 高等学校段階までの教育課程における基礎的・基本的な知識・技能と思考力
- ② 自らが専攻しようとする教科等に関わる基本的内容
- ③ 上記①②を通して、多面的・多角的にものごとをとらえ、論理的に思考・判断できるように幅広く学びを深め、探究する態度

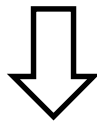
なお、将来、学校教育に教員または教育支援専門職として携わることを望む者として、高等学校段階での教育課程による学びだけでなく、自ら子どもとの交流経験を求めたり、学校教育及び教育に関わる諸問題への関心を深めたりするための主体的な学びや活動を通して、多様な価値観や考えを持つ人々とコミュニケーションする力や、自らの考えを深めてそれを表現する力を身に付けておくことを望みます。

令和6年度 総合型選抜

入学者選抜日程の概要

出 願 期 間

令和5年9月1日（金）～7日（木）



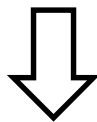
第1次選考

令和5年9月8日（金）～28日（木）



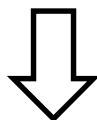
第2次選考

令和5年10月7日（土）



合 格 発 表

令和5年11月1日（水）



入 学 手 続

令和5年12月21日（木）～22日（金）

1. 趣旨

総合型選抜の目的は、本学のアドミッション・ポリシーに基づき、知識偏重ではなく高等学校における諸活動の実績等を多面的・総合的に評価して、本学での学びへの関心・意欲の高い者を選抜することを目的とする。

2. 募集人員

課程・専攻・専修			募集人員	
学 校 教 員 養 成 課 程	幼児教育専攻		1名	
	義 務 教 育 専 攻	学校教育科学専修	1名	
		生活・総合専修	1名	
		ICT活用支援専修	1名	
		日本語支援専修	1名	
		教 科 指 導 系	国語専修	1名
			社会専修	1名
			算数・数学専修	1名
			理科専修	1名
			音楽専修	6名
			図画工作・美術専修	1名
			保健体育専修	9名
			ものづくり・技術専修	3名
			家庭専修	1名
			英語専修	1名
特別支援教育専攻		3名		
養護教育専攻		1名		

(注)

本学においては、総合型選抜と学校推薦型選抜の両方に出願することが可能です。
(ただし、総合型選抜の合格者は除く。)

3. 各課程・専攻・専修が望む学生像

アドミッション・ポリシーをふまえ、各課程・専攻・専修では、次のような学生の入学を望みます。

学校 教員 養成 課程	幼児教育専攻	乳幼児を取り巻く諸問題に興味・関心があり、幼児教育・保育に関する専門的知識に関心をもつとともに、子どもに共感し、環境を通した遊びを中心とした保育を構想し、柔軟に展開できる資質・能力として、特に、子ども理解にもとづくコミュニケーション能力や問題解決力、協働や創造の力などを身につけることに意欲的な者を望みます。	
	義務 教育 専攻	学校教育科学専修	実践的指導力を有する教員の養成を目的に、教育学、キャリア教育や教育心理学などの教育諸科学に関する専門的知識に関心をもつとともに、「ものごとを多角的に理解し、多様性を尊重する力」「他者と協働し、課題に取り組む力」「答えのない課題に対しても、情報を収集しながら意欲的に取り組む力」を有する者を望みます。
		生活・総合専修	児童・生徒の興味・関心に目を向け、それらを教材として組み立てるために必要な子ども理解の視点や専門的知識に関心をもつとともに、体験から生まれる学びを価値づけたり、地域の題材から課題を設定し解決をしていく探究のプロセスの構想、そこにもとづく指導計画を立案したりすることに意欲的な者を望みます。
		ICT活用支援専修	ICTやICTを活用した教育に興味関心があり、物事を論理的に考えることができ、ICTを使って問題を解決したり物事を効率的に進めることに意欲をもつとともに、将来、情報モラル育成のための専門的知識やICTを積極的にかつ有効的に教育に活用できる技術を身につけたいと考えており、卒業後は、学校でICTの活用やプログラミングを教えたり、学校全体の情報化に中心的に貢献することを希望している者を望みます。
		日本語支援専修	日本語支援専修は、日本語教育を学ぶだけでなく、日本の義務教育（小中学校）の教員としての専門的な知識・技能を習得することが目的です。言語文化背景が異なる子どもたちをめぐる諸問題に関心があり、その子どもたちを支援するために必要な専門的知識を積極的に得ようとするとともに、特に、子どもの多様性を認める力や問題解決力、協働の力などを身につけることに意欲的な者を望みます。
		教科 指導 系	国語専修
	社会専修		社会科や社会科を核とした関連諸分野に興味関心があり、それらを教えるために求められる専門的知識に関心をもち、特に、社会的な諸事象を読み解く力、知識と知識を結びつけて新たな知を導き出す力、論理的な思考力や判断力、創造力や探究心を育むことに意欲的であり、かつ多様な価値観を認めて対話や協働を行うことができ、教員として学校教育に携わる強い意欲をもつ者を望みます。
	算数・数学専修		算数・数学科およびその関連諸学科とそれらの学習を通じた児童生徒の知的成長に興味関心がある者を望みます。また、それらの教育に必要な専門的知識に関心をもち、高等学校「数学III」の素養を前提として、数量的スキルや数学的な考え方・表現力等を身につけることに意欲的な者を望みます。算数・数学をよりわかりやすく教えたり、そのおもしろさや有用性を伝えられる教員をめざして、努力しようと志す者を望みます。
	理科専修		児童の身のまわりのものや現象に興味関心があり、それらを教材として組み立てるために必要な専門的知識に関心をもつとともに、特に、自然科学に関する客観的思考力や分析的思考力、合理的にものごとを説明する力などを身につけることに意欲的な者を望みます。また、自然への敬愛や科学技術の素晴らしさを具体的に分かりやすく教えたり、その意義や有用性を伝えたりできる教員をめざして、努力しようと志している者を望みます。

学校教員養成課程	義務教育専攻	教科指導系	音楽専修	<p>児童生徒をとりまく音や音楽、および音楽表現に興味関心をもち、本学入学以前には、基礎的な音楽技能を身につけ、さらに教科書に記載された基礎的な音楽理論や音楽史に関する事項を学習しておくことを期待します。入学後は、音楽に関する創造力と構成力、答えのない問題に解を見出していく力、および音楽表現に必要な技能などを身につけたいと考える者で、将来、教育現場においてそれらを生かしていこうとする強い意志をもつ者を望みます。</p>
			図画工作・美術専修	<p>美術鑑賞や制作活動などに興味関心をもち、本学入学以前に観察力や基礎的な描写力などを十分にもっていることを期待します。入学後は、美術に関する創造力と構想力、表現に必要な技能などを身につけることに意欲的で、図画工作・美術教育を通して感性や想像力を育み、生活や社会の中の美術や文化と豊かに関わる子どもの育成に意欲のある者を望みます。</p>
			保健体育専修	<p>スポーツに親しみをもち、スポーツ実践を介した豊かな経験を有し、かつ健康に関する内容に興味関心がある者を望みます。また、人と広く交流し、コミュニケーションをとることができる資質や能力を有し、子どもに愛情をもって寄り添い、支え続け、子どもの成長にかかわる教員になろうとする強い意欲をもって、保健体育に関する学びを深め、探究しようとする者を望みます。</p>
			ものづくり・技術専修	<p>ものづくりが好きで、科学技術や技術教育に関わる諸問題などに興味関心をもち、科学技術に関する高校までの基礎的な数理的知識をもって受験することを期待します。入学後は、幅広い工学（木工・金工・電気・機械・情報）および農学の知識と技能を身につけて、将来教育現場において、これらの能力を生かそうとする者を望みます。</p>
			家庭専修	<p>生活に関わる諸問題などに興味関心があり、それらを教材として組み立てるために必要な専門的知識に関心をもつとともに、特に、人間の生活とその教育について深く洞察する力、客観的思考力や分析的思考力、合理的にものごとを説明する力などを身につけ、将来教員としてそれらを生かしていこうとする強い意志と意欲をもつ者を望みます。</p>
			英語専修	<p>英語科や英語科を核とした関連諸分野とそれらの学習を通じた児童生徒の知的成長に興味関心があり、学校現場での教育に携わるために求められる専門的および実践的知識に関心をもつとともに、特に、論理的な思考力、想像力や英語でのコミュニケーション能力などを身につけることに意欲的な者を望みます。</p>
		特別支援教育専攻	<p>視覚障害・聴覚障害・知的障害・肢体不自由・病弱・発達障害など、さまざまな障害のある子どもの教育について幅広い専門性をもち、実践的指導力を身につけた教員をめざす者を望みます。そのために、障害のある子どもの実態を客観的にとらえ、積極的に働きかける力があり、他の教員たちと協働しながら、特別支援教育の諸課題に対して問題意識を高め、みずから考え工夫し解決していく強い意志と意欲をもつ者を望みます。</p>	
	養護教育専攻	<p>学校の保健管理や保健教育、子どものからだどこの健康問題に興味関心があり、それらの教育に携わるために求められる専門的知識に関心をもつ者を望みます。特に、専門科目を学ぶために必要な理数系科目を深く洞察する科学的探究心を育み、分析的思考力やコミュニケーション能力などを身につけることに意欲的な者を望みます。</p>		

4. 出願資格

総合型選抜に出願できる者は、次の各号のいずれかに該当し、次ページの「5. 出願要件」を満たす者となります。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和6年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（特別支援学校の高等部又は高等専門学校の3年次を修了した者等、通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。）及び令和6年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校又は中等教育学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和6年3月31日までにこれに該当する見込みの者
これらの者は、次のとおりです。
 - ア 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和6年3月31日までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
 - イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和6年3月31日までに修了見込みの者
 - ウ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和6年3月31日までに修了見込みの者
 - エ 文部科学大臣の指定した者
 - オ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格認定に合格した者を含む。）及び令和6年3月31日までに合格見込みの者で、令和6年3月31日までに18歳に達する者
 - カ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和6年3月31日までに18歳に達する者

〔注〕上記出願資格(3)のカにより出願する者は、次のとおり申請してください。

- (ア) 申請期間
令和5年8月21日（月） から 8月23日（水）17時までに入試課に必着

- (イ) 申請方法

- 1) 申請書類

- a 入学資格（受験資格）の審査申請書
- b 教育施設の卒業証明書又は卒業見込み証明書（中途退学者は除く）
- c 高等学校の在学期間におけるすべての成績証明書（中途退学者のみ）
- d 実務経験の期間及び内容を証明できる書類
- e 取得済みの免許状・資格等の写（申請時は、本通の提示を求めます。）
- f 教育施設の教育課程がわかる書類（学校案内及び履修手引等）
- g 科目等履修生の在学（在籍）証明書及び単位取得証明書

- 2) 申請書類提出先

申請者は、「(イ) 1) 申請書類」一式を申請期間の締切日までに返信用封筒（長形3号）に404円分の切手を貼り受信者の郵便番号、住所、氏名を明記したものを同封の上、持参又は郵送にて提出してください。郵送の場合は「簡易書留郵便」にて、下記あて名を明記した封筒の表に「入学資格審査申請書類在中」と朱書し、提出してください。

なお、提出された書類は、一切返却しません。

（あて名）〒448-8542 愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢1 愛知教育大学入試課

- (ウ) 審査の結果

審査結果は、出願開始までに通知します。

- (エ) その他

入学資格（受験資格）認定申請書及び申請方法等について不明な点がある場合は本学入試課（0566-26-2202）にお問い合わせください。

5. 出願要件

- (1) 保健体育専修を志願する者は、高等学校在籍中に次の種目において全国大会以上の試合に選手として出場し、かつ競技した者であること。

種目：体操競技、新体操、陸上競技、水泳（競泳）、バスケットボール、ハンドボール、サッカー、ラグビー、バレーボール、卓球、テニス・ソフトテニス、バドミントン、ソフトボール、柔道、剣道、相撲、ダンス

出願書類の“学びの履歴”（下表参照）に出場した大会の正式な名称を記入すること。

- (2) 合格した場合、必ず入学することを確約できる者

6. 出願期間

令和5年9月1日（金） から 9月7日（木）17時まで

出願書類の提出は郵送（簡易書留速達）に限ります。9月7日（木）17時までに入試課に必着すること。出願期間を過ぎた場合には受理しませんので、郵便事情を考慮し、早めに郵送してください。ただし、9月5日（火）以前の郵便局受付印がある「簡易書留速達」に限り、出願期間後に到着したものでも受理します。

7. 出願書類等

下記の(1)～(3)の書類を出願期間内に提出してください。

- (1) インターネット出願システムから印刷し、提出するもの

提出書類等	記入者	摘 要
1 出願確認票 (提出用)	志願者	出願内容等に間違いがないか確認し、インターネット出願システム登録後にカラー印刷してください。 (注) 出願前3か月以内に撮影した正面、上半身、無帽、背景なしの顔写真データを用意し、インターネット出願システムからアップロードしてください。
2 宛名ラベル 及び 出願書類 チェックリスト	志願者	出願封筒（角形2号）用に貼り付ける宛名ラベル及び出願書類チェックリストをインターネット出願システムからカラー印刷し、封筒に貼り付けてください。

- (2) 所属する高等学校及び志願者が準備するもの

本学所定の様式で作成する書類（調査書は除く）。

本学 Web サイト(<https://www.aichi-edu.ac.jp/exam/entrance/faculty.html>) からダウンロードした所定の様式に **3** 及び **4** は志願者本人が、**5** は学校長が記入し、本人が提出。

提出書類等	記入者	摘 要
3 志望理由 及び 学びの計画	志願者	(本学所定様式) 本学への入学を希望する理由、本学に入学して何を学びたいか、何が学べるかを期待しているのか、「4 学びの履歴」の記載内容とどのように関わっているのか、記入してください。 (注) 生成系 AI (ChatGPT 等) が生成した文章をそのまま又は一部修正して提出することは不正行為となります。志望理由については、皆さん自身の考えで作成してください。
4 学びの履歴	志願者	(本学所定様式) これまでに経験した教育に関わる活動、志願する専攻、専修にかかわる諸活動等、受賞歴、各種資格や検定等について記入してください。なお、資料は A4 判のファイル一冊に綴じること（作成方法については、別掲載の「出願書類等はこちら。」の学びの履歴作成例をご確認ください。）。

5	調査書	学校長	(文部科学省所定様式) 学校長職印, 記載責任者の印を押し, 厳封されたものを提出してください。
---	-----	-----	---

(3) 該当者のみが提出する書類

所定の様式で作成する書類。

6 及び **7** は本学 Web サイト (<https://www.aichi-edu.ac.jp/exam/entrance/faculty.html>) からダウンロードした様式に志願者本人が記入し, 提出。

8 は文部科学省, 各学校から, **9** は各高等専門学校から入手し, 提出。

	該当者	書類	記入者	摘要
6	調査書を提出できない者	活動報告書	志願者	(本学所定様式) 中学校以降の生活において, どのような学習や活動を行ってきたかを記入してください。
7	音楽専修を志願する者	実技内容届	志願者	(本学所定様式) 第2次選考で受講したいレッスンを記入してください。
8	高等学校卒業程度認定試験に合格した者	成績証明書 (認定試験) ※	文部科学省	(文部科学省所定様式) 厳封されたものを提出してください。
	高等学校卒業程度認定試験に合格し, 試験で受験を免除された科目がある者	単位修得証明書 成績証明書 (高等学校) ※	学校長	(文部科学省所定様式) 受験科目免除申請に提出した証明書を手渡し, 厳封されたものを提出してください。 (各学校所定様式) 在籍時の成績証明書を手渡し, 厳封されたものを提出してください。なお, 入手できない者は在籍期間を証明する書類を代わりに提出して下さい。
9	高等専門学校の3年次を修了及び修了見込みの者	成績証明書	学校長	(各高等専門学校所定様式) 3年次までの成績(見込みを含む)を証明するもの入手し, 厳封されたものを提出してください。

※成績証明書は, 認定試験合格時のものと, 高等学校等在籍時のものの2種類があります。高等学校卒業程度認定試験で受験を免除された科目がある者はその両方を提出してください。

8. 出願手続

出願手続は、①インターネット出願登録→②検定料の支払い→③写真のアップロード→④出願書類の提出（簡易書留速達）により、完了します。

【インターネット出願登録及び入学検定料支払期間】は以下のとおりです（出願受付期間前から出願情報の登録及び検定料の支払いは可能です）。

令和5年8月25日（金）9時 から 9月6日（水）23時59分まで

出願情報の登録後に入学検定料17,000円（別途、支払手数料700円）を支払うことになるので、余裕をもった出願を心がけてください。

なお、**検定料の支払い後は、登録内容の変更はできません**ので、注意してください。

また、大規模な災害により災害救助法適用地域において被災又は避難されている学資負担者又は志願者は、入学検定料が免除になることがありますので、入学検定料を支払う前の出願開始日1週間前までに本学 Web サイト「入学検定料の免除について」（https://www.aichi-edu.ac.jp/exam/info/kentei_men_jyo.html）を確認の上、申請してください。

インターネット出願登録は、下記のURLから利用できます。

URL <https://www.aichi-edu.ac.jp/exam/entrance/internet.html>

- インターネット出願の操作に関するお問い合わせ
志願受付操作サポート窓口 TEL 0120-752-257
- 入学試験に関する問い合わせ
愛知教育大学入試課学部入試係 TEL 0566-26-2202

【出願期間】は以下のとおりです。

令和5年9月1日（金） から 9月7日（木）17時まで

- (1) 出願書類等の提出
 - ア 出願書類等の提出は郵送に限ります。
出願書類等はインターネット出願登録後にカラー印刷した宛名ラベルを市販の角形2号封筒の表面に貼り付け、一括して封入し、簡易書留速達で郵送してください。
 - イ 出願書類等は**出願期間内に到着するよう注意**してください。
 - ウ 提出先 〒448-8542 愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢1 愛知教育大学 入試課
- (2) 出願にあたっての留意事項
 - ア 出願書類に虚偽の記入をした者に対しては、入学後でも入学を取り消すことがあります。
 - イ 出願書類等のうち、一つでも不備がある場合は願書を受理しませんので、郵送する前に、すべての書類等がそろっているか必ず確認してください。
 - ウ 検定料の支払い後は、志望内容の変更には一切応じません。
また、払い込まれた検定料は次の場合を除き返還しません。

- ① 出願書類を提出しなかった場合(返還額：振込手数料を差引いた額)
- ② 検定料を誤って二重に払い込んだ場合(返還額：振込手数料を差引いた額)
- ③ 出願書類等に不備があり、受理されなかった場合(返還額：振込手数料を差引いた額)

* 検定料の返還請求方法

志願者の申し出により返還しますので、次頁の（ア）、（イ）の書類を郵送してください。
（令和5年10月13日（金）まで）

(ア) 入学検定料の支払いを証明する書類（領収書等）

(イ) 「入学検定料返還請求書」（便せん等に次の1～7を明記してください。）

- 1 返還請求の理由
- 2 試験区分（総合型）
- 3 氏名（フリガナ）
- 4 現住所
- 5 連絡先電話番号
- 6 返還請求額（17,000円）※成績の開示請求（P20参照）をした場合は17,600円
- 7 返還金振込先
 - 1) 金融機関名（可能な限り、郵便局・ゆうちょ銀行以外の金融機関）
 - 2) 支店名
 - 3) 預金種別（当座・普通）
 - 4) 口座番号
 - 5) 口座名義人（フリガナ）
 - 6) 口座名義人が志願者と異なる場合は、志願者との続柄

郵送先 〒448-8542 愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢1 愛知教育大学入試課 TEL0566-26-2202
返還時期は、令和6年1月末（請求時期により異なります）までを予定しております。

【インターネットを利用した出願の手順】

①入試制度の確認	本学 Web サイトから「募集要項」をダウンロードし、出願資格・入学者選抜方法・出願期間等を確認する。
②出願情報の登録 (注1)	インターネットに接続しているパソコン等から、画面の指示に従って登録内容を入力する。
③出願情報の確認	登録した情報を確認する（確認用の用紙を印刷する等）。
④支払い方法の選択	検定料の支払い方法を選択する。 ・クレジットカード ・コンビニエンスストア ・金融機関 ATM（ペイジー） ・ネットバンキング ・PayPay（ペイペイ）
⑤検定料の支払い	選択した方法に従って検定料を支払う。
⑥証明写真の アップロード	⑤検定料の支払い後に送信される入金確認メールに記載されるURLから、インターネット出願登録システムへ再度ログインし、志願者本人の写真アップロードする。
⑦出願登録内容の印刷	出願確認票等を印刷する。
⑧出願書類の郵送 (注2)	⑦の出願登録内容の印刷物等を、7ページ「7. 出願書類等」のとおり愛知教育大学入試課へ郵送し、出願が完了。

(注1) インターネット出願情報の登録を開始する前に準備しておくデータ等

ア 受験者本人の顔写真データ：正面、上半身、無帽のもので出願前3か月以内に撮影した写真の画像データを準備してください。

イ 電子メールアドレス：電子メールアドレスが必要となります。スマートフォン・携帯電話の電子メールアドレスやフリーメールのアドレスも利用可能です。

ウ プリンタ、印刷用紙：A4サイズの用紙が印刷できるプリンタ（カラー印刷）が必要です。

エ 試験成績開示請求について、希望しない場合は、「希望する」から「希望しない」に選択を変更してください。

(注2) インターネットを利用した出願情報の登録だけでは、出願手続は完了しません。出願期間内に、出願確認票等を郵送・提出することで手続は完了します。

(注3) インターネットを利用した出願情報の登録のパソコン推奨環境及びモバイル端末推奨環境は次のとおりです。

① パソコン推奨環境

ブラウザバージョン

Windows 環境の場合	Mac 環境の場合
Google Chrome Microsoft Edge	Safari Google Chrome

PDF 閲覧ソフトバージョン

Windows 環境の場合	Mac 環境の場合
Adobe Acrobat Reader DC ※Windows 8.1, Windows 10 の「リーダー」は推奨環境外です。 ※ブラウザ専用 PDF Viewer は推奨環境外です。	Adobe Acrobat Reader DC ※macOS のプレビューは推奨環境外です。 ※ブラウザ専用 PDF Viewer は推奨環境外です。

② モバイル端末推奨環境

※下記は推奨環境ですが、お使いの環境によっては一部機能が動作しないことがあります。その場合はパソコンをご使用ください。

Android 環境の場合	iOS 環境の場合
Android 10.X.X 以降 Android Chrome	iOS 14.X.X 以降 Safari

9. 受験票及び受験案内のダウンロード, 印刷

受験票及び受験案内は、令和5年10月2日(月)頃からダウンロード及び印刷が可能となります。インターネット出願登録サイトの申込確認から受験票をダウンロード及びカラー印刷し、試験当日に持参してください。

また、受験上の注意事項(集合時間や場所等)に関する「受験案内」を受験票に記載のURLから必ず確認してください。

10. 入学者選抜方法

- (1) 選抜は、志望理由及び学びの計画、学びの履歴及び調査書による書類選考を第1次選考として行い、第1次選考の合格者に対して、高大連携講座を受講した後の課題と、AP試験によって第2次選考を行います。
- (2) 最低基準点は、総点の2分の1とし、これに満たない場合は不合格とします。各選考の配点は次の表のとおりです。
- (3) (2)で不合格となった者を除き、専攻・専修毎に、第1次選考と第2次選考の得点を合計した点数の高得点順位の者から合格者とします。
- (4) 合計した点数が著しく低い場合は、合格者数が募集人員を下回ることもあります。
- (5) 第1次選考は、原則志願者数が選択可能な人数を超えた場合に行います。実施するかどうかは、本学Webサイト(<https://www.aichi-edu.ac.jp/>)でお知らせします。

第1次選考の配点

課程・専攻・専修		配点				
		志望理由及び学びの計画	学びの履歴及び調査書	計		
学 校 教 員 養 成 課 程	幼 児 教 育 専 攻		40	60	100	
	義 務 教 育 専 攻 系	学 校 教 育 科 学 専 修	40	60	100	
		生 活 ・ 総 合 専 修	40	60	100	
		I C T 活 用 支 援 専 修	40	60	100	
		日 本 語 支 援 専 修	40	60	100	
		教 科 指 導 系	国 語 専 修	40	60	100
			社 会 専 修	40	60	100
			算 数 ・ 数 学 専 修	40	60	100
			理 科 専 修	40	60	100
			音 楽 専 修	40	60	100
			図 画 工 作 ・ 美 術 専 修	40	60	100
			保 健 体 育 専 修	40	60	100
			も の づ く り ・ 技 術 専 修	40	60	100
			家 庭 専 修	40	60	100
		英 語 専 修	40	60	100	
特 別 支 援 教 育 専 攻		40	60	100		
養 護 教 育 専 攻		40	60	100		

第2次選考の配点

課程・専攻・専修		配点					
		第1次選考の評定	講座受講後の課題	AP試験	総点		
学 校 教 員 養 成 課 程	幼児教育専攻	100	100	200	400		
	義務 教育 専 攻	学校教育科学専修	100	100	200	400	
		生活・総合専修	100	100	200	400	
		ICT活用支援専修	100	100	200	400	
		日本語支援専修	100	100	200	400	
		教科 指 導 系	国語専修	100	100	200	400
			社会専修	100	100	200	400
			算数・数学専修	100	100	200	400
			理科専修	100	100	200	400
			音楽専修	100	100	200	400
			図画工作・美術専修	100	100	200	400
	保健体育専修	100	100	200	400		
	ものづくり・技術専修	100	100	200	400		
	家庭専修	100	100	200	400		
	英語専修	100	100	200	400		
特別支援教育専攻	100	100	200	400			
養護教育専攻	100	100	200	400			

(6) 試験日程は次のとおりとし、前記(1)のとおり行います。

第1次選考

試験期日	令和5年9月8日(金)～28日(木)
------	--------------------

第2次選考

試験期日	令和5年10月7日(土)
試験場	愛知教育大学

※試験の実施場所・試験時間割等については、受験案内により別途通知します。

(7) 高大連携講座と受講後の課題及びAP試験の内容は次頁の表のとおりです。

第2次選考（高大連携講座及び受講後の課題）の内容

課程・専攻・専修		高大連携講座及び受講後の課題		
学 校 教 員 養 成 課 程	幼 児 教 育 専 攻	講義（60分程度）を受講し、講義内容及び資料を題材とした課題について論述（筆記）を課します。		
	義 務 教 育 専 攻	学 校 教 育 科 学 専 修	講義（90分程度）を受講し、講義内容を題材とした課題について論述（筆記）を課します。	
		生 活 ・ 総 合 専 修	講義（45分程度）を受講し、講義内容及び資料を題材とした課題について論述（筆記）を課します。	
		ICT 活 用 支 援 専 修	講義（90分程度）を受講し、講義中や講義後に、実技試験や論述（筆記）を課します。	
		日 本 語 支 援 専 修	講義（45分程度）を受講し、講義内容及び資料を題材とした課題について論述（筆記）を課します。	
		教 科 指 導 系	国 語 専 修	講義（60分程度）を受講し、講義内容及び資料を題材とした課題について論述（筆記）を課します。
			社 会 専 修	講義（60分程度）を受講し、講義内容及び資料を題材とした課題について論述（筆記）を課します。
			算 数 ・ 数 学 専 修	講義（60分程度）を受講し、講義内容及び資料を題材とした課題について論述（筆記）を課します。
			理 科 専 修	講義（45分程度）を受講し、講義内容及び資料を題材とした課題について論述（筆記）を課します。
			音 楽 専 修	ピアノ・声楽・管打楽器の中から一つ選んでレッスンを受講し、さらに音楽理論の講座（読譜及び鍵盤楽器の基礎技能を含む）を受講した上で、そこで指摘された問題点や改善を要する点などを自ら見出しながら、今後に向けた課題を記述してもらいます。
			図 画 工 作 ・ 美 術 専 修	講義（45分程度）を受講したうえで、講義と関連して鉛筆デッサン（90分）を課します。
	保 健 体 育 専 修		講義（45分程度）を受講し、講義内容を題材とした課題について論述（筆記）を課します。	
	も の づ くり ・ 技 術 専 修		講義（45分程度）を受講し、講義内容及び資料を題材とした課題について論述（筆記）を課します。	
	家 庭 専 修		講義（45分程度）を受講し、講義内容及び資料を題材とした課題について論述（筆記）を課します。	
	英 語 専 修	講義を受講し、実際のコミュニケーション活動（45分程度）を行った後に、その内容及び資料を題材とした課題について論述（筆記）を課します。		
特 別 支 援 教 育 専 攻	講義（90分程度）を受講し、講義内容及び資料を題材とした課題について論述（筆記）を課します。			
養 護 教 育 専 攻	講義（45分程度）を受講し、講義内容及び資料を題材とした課題について論述（筆記）を課します。			

第2次選考（AP試験）の内容

課程・専攻・専修		A P 試 験		
学 校 教 員 養 成 課 程	幼 児 教 育 専 攻	複数の教員による集団面接を行います。個々の理解力、思考力、判断力、コミュニケーション能力、自己表現力をみるとともに、幼稚園教諭や保育士への意欲・適性などを総合的に判断します。		
	義 務 教 育 専 攻	学 校 教 育 科 学 専 修	複数の教員による集団討論・集団面接を行います。教育の基本的事項に関する理解力、多様なものの見方、コミュニケーション能力、積極的に挑戦する態度をみるとともに、教職への志望の意欲・適性などを総合的に判断します。	
		生 活 ・ 総 合 専 修	複数の教員による集団面接を行います。個々の理解力、思考力、判断力、コミュニケーション能力、自己表現力をみるとともに、教職への志望の意欲・適性などを総合的に判断します。	
		I C T 活 用 支 援 専 修	複数の教員による個別面接を行います。思考力、判断力、コミュニケーション能力、自己表現力をみるとともに、教職への志望の意欲・適性、ICTやICTを活用した教育への興味・関心などを総合的に判断します。	
		日 本 語 支 援 専 修	複数の教員による個別面接により、日本語教育に関する興味・関心をみるとともに、教職への志望の意欲・適性などを総合的に判断します。	
		教 科 指 導 系	国 語 専 修	複数の教員による集団面接を行います。個々の理解力、思考力、判断力、コミュニケーション能力、自己表現力をみるとともに、教職への志望の意欲・適性などを総合的に判断します。
			社 会 専 修	複数の教員による集団面接を行います。社会科に関する興味・関心、物事を客観的に読み解く力、知識と知識を結びつける力、自分の言葉で表現する力をみるとともに、教職への志望の意欲・適性を総合的に判断します。
	算 数 ・ 数 学 専 修		複数の教員による個別もしくは集団面接を行います。数学の内容、および算数・数学の教え方に関する質問を行い、理解度・思考力・説明する力をみるとともに、受け答えを通じて教職への志望の意欲・適性を総合的に判断します。	

学 校 教 員 養 成 課 程	義 務 教 育 専 攻	教 科 指 導 系	理 科 専 修	複数の教員による個別もしくは集団面接を行います。個々の理解力, 思考力, 判断力, コミュニケーション能力, 自己表現力をみるとともに, 教職への志望の意欲・適性を総合的に判断します。
			音 楽 専 修	複数の教員による面接を行います。個々の理解力, 判断力, 自己の意見や考えを表現するコミュニケーション能力をみるとともに, 将来教育現場においてそれらを生かしていこうとする強い意志や教員としての適性などを総合的に判断します。
			図画工作・美術専修	複数の教員による面接を行います。個々の理解力, 思考力, 判断力, コミュニケーション能力, 自己表現力をみるとともに, 図画工作を得意とする教員, もしくは美術教員への志望の意欲・適性などを総合的に判断します。
			保 健 体 育 専 修	複数の教員による面接を行います。コミュニケーション能力等をみるとともに, 教職への志望の意欲・適性などを総合的に判断します。
			ものづくり・技術専修	複数の教員による個別面接を行います。将来, 教職に就く強い意欲と, 科学技術への興味・関心と共に, 様々な課題解決のために創意工夫する豊かな感性等を総合的に判断します。
			家 庭 専 修	複数の教員による個別もしくは集団面接を行います。生活の諸問題に対する興味, 関心をみるとともに, 教職への志望の意欲・適性などを総合的に判断します。
			英 語 専 修	複数の教員による個別もしくは集団面接を行います。英語の教科に関する知識・関心・技能を問うとともに, 教職への志望の意欲・適性などを総合的に判断します。
	特別支援教育専攻	複数の教員による個別面接を行います。特別支援教育に関する諸課題への問題意識と, 思考力・判断力・コミュニケーション能力・自己表現力等をみるとともに, 教職への志望の意欲・適性などを総合的に判断します。		
	養 護 教 育 専 攻	複数の教員による集団面接を行います。健康に関する領域の理解力, 思考力, 判断力, コミュニケーション能力, 自己表現力をみるとともに, 養護教諭への志望の意欲・適性などを総合的に判断します。		

※受験者数によっては、面接方法を変更することがあります。

11. 障害のある入学志願者との事前相談

本学に入学を志願する者で、受験上及び修学上の配慮を必要とする志願者もしくは不安を感じる志願者は、相談締切日までに必ず本学と相談してください。必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談を行います。

相談内容によっては、対応に時間を要することもありますので出願前の早い時期に申し出てください。この事前相談により、合否判定の際に不利になることはありません。

(1) 相談締切日 令和5年8月21日(月)

(2) 相談申込み方法

「入学試験受験上の配慮申請書」により申込みしてください。

(本学指定様式によるものとします。様式については、下記問い合わせ先に連絡の上、請求してください。)

(3) 提出書類

ア 入学試験受験上の配慮申請書(本学指定様式)

イ 医師の診断書(コピー可)

(4) 問い合わせ先

愛知教育大学 入試課 (TEL 0566-26-2202)

12. 免許教科の決定について

・免許教科について

義務教育専攻学校教育科学専修、生活・総合専修、ICT活用支援専修、日本語支援専修及び特別支援教育専攻においては、1科目の中学校教員免許状(二種もしくは一種)を取得することができます。この教科を「免許教科」と呼び、入学前に希望教科を選択していただく必要があります。

なお、免許教科は、入学手続時に行う意向調査に基づき、大学が決定します。できる限り希望に添うように各教科への割り振りを行います。特定の教科に希望が集中することなどにより、必ずしも第1希望の教科を履修できない場合も考えられることをご承知おきください。

また、免許教科の決定後は、いかなる理由があっても、変更は一切認められません。

決定した免許教科の専門教育科目の授業では、当該教科について知識や技能の高い専攻学生とともに学ぶことになることから、入学手続時の意向調査の際には、各免許教科に関する学修に当たっての要望やアドバイスを提示しますので、慎重に免許教科を選択することを求めます。

以下の本学ホームページにおいて、「免許教科選択に当たっての留意点」を掲載していますので、併せて確認してください。

愛知教育大学ホームページ HOME > 学部・大学院

<https://www.aichi-edu.ac.jp/edu/index.html>

このページの「免許教科」のリンクをクリックしてください。

免許教科		国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健 体育	技術	家庭	英語
義務教育 専攻	学校教育科学専修	○	○※	○	○	○	○	○	○	○	○
	生活・総合専修	○	○※	○	○※	○	○	○	○※	○※	○
	ICT活用支援専修	○	○	○※	○※	○	○	○	○※	○	○
	日本語支援専修	○									○
特別支援教育専攻		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※専修として選択を薦める教科

13. 合格者発表

- (1) 第1次選考の合格発表は、令和5年9月28日（木）頃に合格者の整理番号を本学 Web サイトに掲載します。併せて、不合格者にのみ、結果通知を郵便により送付します。
- (2) 第2次選考の合格発表は、令和5年11月1日（水）に合格通知書及び入学手続関係書類を郵便により送付します。
また、合格者の受験番号を当日10:00以降、本学 Web サイトに掲載します。
(本学 Web サイト：<https://www.aichi-edu.ac.jp/>)
Web サイトでの発表は参考として閲覧のうえ、郵送による合格通知書で確認してください。
- (3) 電話その他による可否の照会には一切応じません。

14. 入学手続

入学手続は下記の日時・場所で行いますが、郵送する場合は、令和5年12月21日（木）までに「書留郵便」で学生支援課に必着するよう送付してください。入学手続の詳細は、合格者に郵送する「入学手続要項」をご覧ください。

- (1) 日時・場所

日 時		場 所
令和5年12月21日（木）	9:00 ～ 12:00	愛知教育大学
令和5年12月22日（金）	13:00 ～ 16:00	

- (2) 入学料等納入金

入 学 料	282,000 円
入学時諸費用 *1	54,660 円
前期分授業料	267,900 円
後期分授業料	267,900 円

入学料及び入学時諸費用については、入学手続時までには必ず納入していただきます。また、授業料の納入については、4月以降に行っていただきますので、その納入方法は**合格者のみに郵送する「入学手続要項」**において指示します（入学時及び在学中に納入金の改定が行われた場合には、改定時から新入学料、新入学時諸費用及び新授業料を適用します）。

*1 入学時諸費用は、通学中や教育実習などの活動中の事故等に係る保険料（4年間分）、教育研究経費、大学行事、就職、課外活動及び福利厚生への支援など様々な学生支援事業のための費用で、入学時のみの費用です。

また、本学では、すべての学部学生に「教材用パソコン（インターネットに接続できるノートパソコン）」を用意していただくことになっていきますのでご承知おきください。教材用パソコンの詳細については入学手続後にお知らせします。（本学生協で教材用パソコンに適したものを販売していますが、仕様を満たすものであれば、他の市販のパソコンや既存のパソコンをお持ちいただくことも出来ます。）

○ 納入方法

入学料及び入学時諸費用については、合格者の方に郵送する「入学手続関係書類」に同封の払込書（大学指定のもの）にて、入学手続時までに最寄りのゆうちょ銀行又は郵便局の窓口*²にて納入してください。

*² ATM は使用しないでください。

(3) 留意事項

ア **総合型選抜により入学する者は、本学が行う入学前指導に参加してください。詳細は、入学手続後に連絡します。**

イ **総合型選抜の合格者は、他の国公立大学の一般選抜を受験しても入学許可は得られません。また、合格者が令和5年12月22日（金）までに「入学辞退願」（任意様式）を提出せず、入学手続を完了しないときは、合格を取り消されるとともに、他の国公立大学の一般選抜を受験しても入学許可は得られません。**

ただし、「17. 入学辞退手続」により本学学長の許可を得た場合は、この限りではありません。

ウ 入学手続完了者で高等学校を卒業できない場合は、入学許可を取り消します。

エ 入学手続完了後に本学への入学を辞退する場合、納付済の入学料はいかなる理由があっても返還いたしません。

オ 免除又は徴収猶予申請者が入学手続完了（免除等申請）後に入学を辞退した場合は、「免除等申請を辞退」したものととなりますので、直ちに入学料を納入していただきます。

カ 入学料・授業料の免除及び経済的支援については下記の愛知教育大学 Web サイトを参照してください。

<https://www.aichi-edu.ac.jp/campus/index.htm>

入学手続に関するお問い合わせ先

学生支援課

TEL 0566-26-2173

15. 学生寮への入寮について

学生寮への入寮を希望する者は、合格者に郵送する入学手続要項に同封の申請書類又は大学 Web サイト (<https://www.aichi-edu.ac.jp/campus/support/dormitory.html>) の入寮申請案内からダウンロードした申請書類により申込みを行ってください。

学生寮についての詳細は、大学 Web サイトを参照してください。

学生寮に関するお問い合わせ先

学生支援課 学生寮担当

TEL 0566-26-2186

16. 入学辞退手続

総合型選抜の合格者は、原則として入学を辞退することは出来ません。しかしながら、やむを得ず本学に入学することができなくなった場合、理由を付した「入学辞退願」（任意様式）を、令和5年12月22日（金）までに提出し、本学学長の許可を受けなければなりません。この許可を受けない場合には、総合型選抜の合格を取り消すとともに、他の国公立大学の一般選抜を受験しても入学許可は得られませんので、十分に注意してください。

17. 不合格者の再出願

- (1) 不合格となった者で大学入学共通テストを受験する者は、本学の学校推薦型選抜及び一般選抜を受験することができます。この場合、別途、出願手続及び入学検定料の納入が必要です。
- (2) 本学の学校推薦型選抜を受験する者は、「令和6年度愛知教育大学学校推薦型選抜学生募集要項」、本学の一般選抜を受験する者は、「令和6年度愛知教育大学一般選抜学生募集要項」（令和5年10月中旬頃発表予定）により出願手続をしてください。

18. 入学試験個人成績の開示

本学では、総合型選抜の個人成績（総合点）を本人に限って開示します。出願時に成績開示を希望した者は、本学 Web サイトの「成績開示システム」から令和6年度入試の個人成績が閲覧できます。

(1) 請求方法

- ① インターネット出願登録サイトで出願登録をする際に、試験成績開示請求項目の「希望する」を必ず選択してください。開示を希望しない場合は「希望しない」に選択を変更してください。
- ② 「希望する」を選択した場合、1回の出願につき開示請求手数料600円が別途必要です。検定料と併せてお支払いください。なお、郵送及び出願後の請求は原則受け付けません。

(2) 開示の時期

令和6年5月1日から6月30日まで、本学 Web サイトの「成績開示システム」から、閲覧が可能となります。詳細は、令和6年4月下旬、本学 Web サイトでお知らせします。

- ※1 閲覧には「受験番号」及びインターネット出願登録時に発行される「セキュリティコード」が必要です。開示時期まで、忘れずに控えておいてください。
- ※2 開示期間が終了すると閲覧できなくなりますので、必要であれば、適宜成績開示画面を印刷してください。

【個人情報の取り扱いについて】

本学では、出願時に収集した個人情報（住所・氏名・生年月日等）を、入学者選抜に関する業務及びこれらに付随する業務に利用し、入学手続完了者にとっては、学籍データとして、修学指導業務等に利用します。取得した個人情報は適切に管理し、利用目的以外には利用しません。

また、国公立大学の一般選抜における合格決定業務を円滑に行うため、氏名、性別、生年月日、高等学校等コード及び大学入学共通テストの受験番号に限り、学校推薦型選抜の合格及び入学手続等に関する個人情報を、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達することがあります。

19. 安全保障輸出管理について

愛知教育大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「愛知教育大学安全保障輸出管理規程」を定め、外国人留学生の受入れに際し、厳格な審査を実施しています。

規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので、注意してください。

【参考】「愛知教育大学安全保障輸出管理規程」

愛知教育大学規程集 <https://www.aue-kitei.jp/auekitei/index.html> より

第10章 研究連携・研究支援 > 国立大学法人愛知教育大学安全保障輸出管理規程

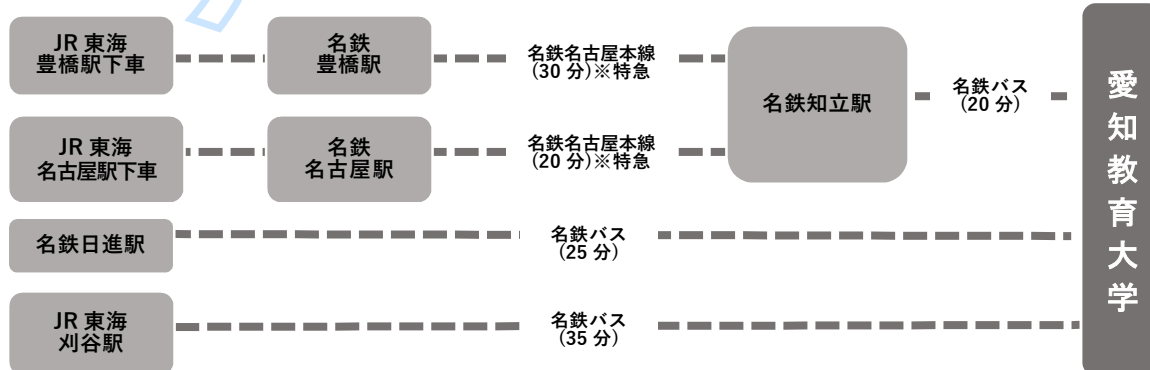
経済産業省「安全保障貿易管理」 <https://www.meti.go.jp/policy/anpo/gaiyou.html>

◆ 愛知教育大学へのアクセス（案内図）

MAP



ACCESS



- 名鉄名古屋本線「知立駅」北口からバスで約 20 分「愛知教育大前」下車
- 名鉄豊田線「日進駅」からバスで約 25 分「愛知教育大前」下車
- JR 東海道本線「刈谷駅」北口からバスで約 35 分「愛知教育大前」下車

※鉄道・バスの発着時刻等については、各交通機関のホームページ等でご確認ください。

「入試過去問題活用宣言」への参加について

本学は、「入試過去問題活用宣言」に参加しており、アドミッション・ポリシーを実現するため必要と認める範囲で「宣言参加大学」の入試過去問題あるいは類似問題を使用して出題することがあります。ただし、必ず使用するとは限りません。

詳細は、「<http://www.nyushikakomon.jp>」にて公表しています。不明な点等がありましたら、本学入試課へお問い合わせください。

本文内容等に変更が出た場合は、本学 Web サイトにて公表
しますので、こちらをご確認ください。

問い合わせ先

〒448-8542 愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢 1

愛知教育大学 入試課

TEL 0566-26-2202

FAX 0566-26-2200

Web サイト <https://www.aichi-edu.ac.jp/>

電話等によるお問い合わせは必ず志願者本人が行ってください。

【以下参考】

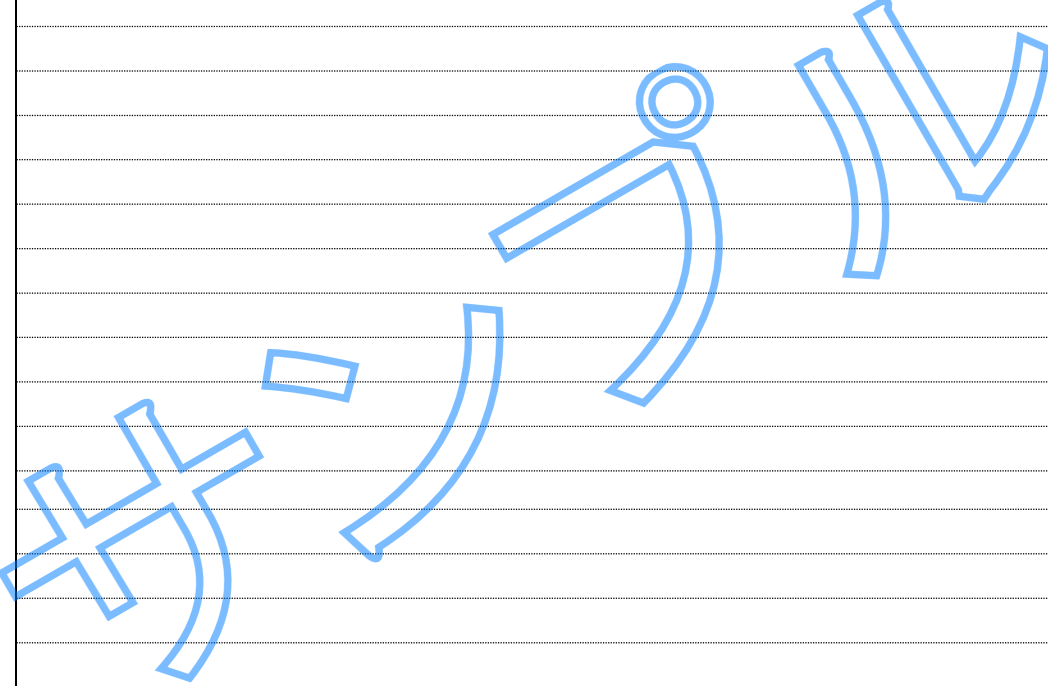
愛知教育大学

総合型選抜 出願書類等 様式サンプル（注）

（注）本資料はあくまでもサンプルであって実際の出願時には、本学 Web ページから様式をダウンロードし、作成並びに出願時に提出してください。

1. 志望理由及び学びの計画
2. 学びの履歴
3. 活動報告書（該当者のみ）
4. 音楽実技内容届（音楽専修 出願者用）

志望理由及び学びの計画

フリガナ		志望する	
氏名		課程・専攻・ 専修	
<p>志望する理由を次の点に留意して、志願者であるあなた自身が黒のペン又はボールペンを用いて自筆で記入してください（パソコン等で作成したものは不可、用紙は追加できません）。なお、自筆での記入が困難な場合はお問い合わせください。</p> <p>○以下の1. 及び2. を記入する際、「学びの履歴」に記入した主な活動が本学への志望理由及び入学後の本学における学びへの期待とどのように関わっているのかも触れてください。</p> <p>○本学の総合型選抜は、本学での学びを強く志望し、合格した場合に入学を確約できる方、さらに卒業後、教職を目指す方を求めています。以下の1. 及び2. を記入する際、自らに明確な本学への入学の意志や学びへの期待、更に将来、教職を目指す強い意志があるかを、自らに問うてから記入してください。</p>			
<p>1. 本学へ入学を希望する理由を具体的に記入してください。</p>			

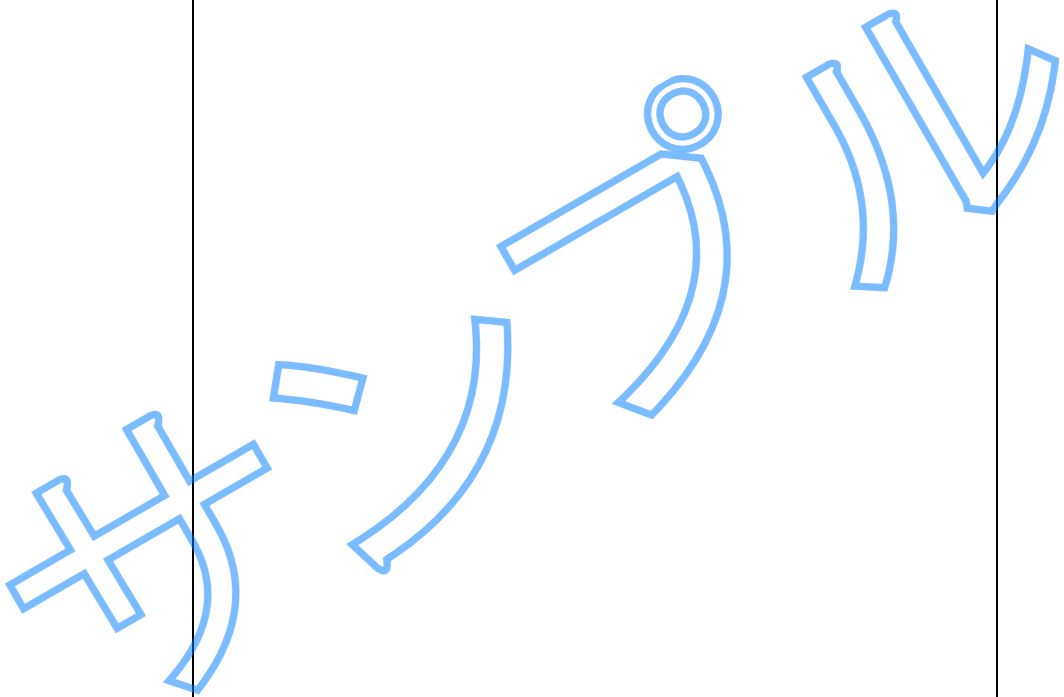
2. 本学に入學して何を学びたいのか、何が学べるかを期待して受験したのか、具体的に記入してください。

Blank lined area for writing the answer to question 2.

受験番号	※
------	---

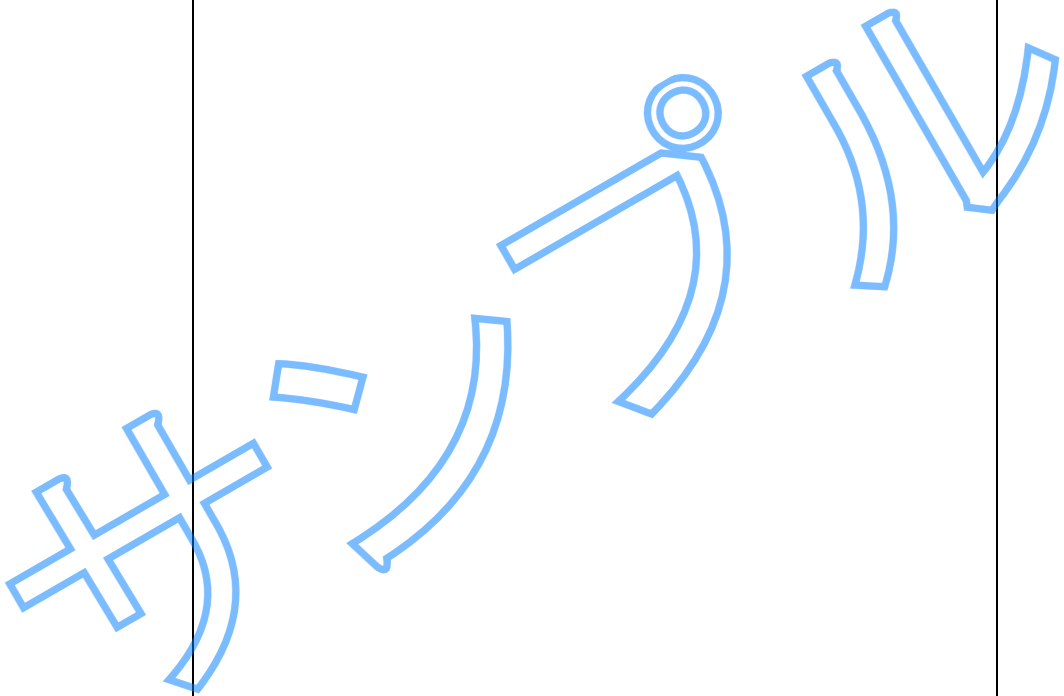
※印は記入しないでください。

② 高等学校時に経験した教育に関わる活動（子どもとの交流経験，教育現場訪問，本学教育学部や他大学教育学部におけるイベントへの参加，高等学校における教育コース等での経験等）について記入してください（用紙は追加できません）。その際，教育に関わる活動のレポート・報告書等，活動から得た学びの成果を添付してください。

活動時期	活動の内容	資料番号
		

氏名	
----	--

③ 高等学校時に主体性・協働性をもって取り組んだ自身の活動（②で記載したもの以外の活動）、例えば志望する課程、専攻、専修、コースに関わる「学び」等（教科での学習、総合的な学習の時間、探究活動、課外活動、学校行事）の活動や生徒会・部活動等の活動、文化的・芸術的活動、作品の出品・成績（順位・受賞等）、スポーツ大会・競技会への参加・成績（順位・受賞等）、社会奉仕等の社会活動・ボランティア活動、留学・海外経験等を記入してください（用紙は追加できません）。その際、自身の活動のレポート・報告書等、活動から得た学びの成果を添付してください。

活動時期	活動の内容	資料番号
		

氏名	
----	--

【記入方法について】

- 1) 「時期」「活動時期」欄には、各活動を行った時期や資格・検定等を取得・受検した時期を西暦で〇年〇月あるいは〇年〇月～〇年〇月といった形式で記入してください。
- 2) 「資格・検定」欄には、資格・検定の種別と成績を記入してください。
- 3) 「活動の内容」欄には、活動の名称とその内容の簡単な説明を書いてください。共同での活動については、あなたの役割や貢献部分を明示して説明してください。
- 4) 「資料番号」欄には、「資格・検定等」「活動の内容」欄に対応する資料（例えば、活動内容の成果を示す資料等や資格・検定成績等の証明書等々）の番号を記入してください。それら資料には、必ず氏名と資料番号を記載し、番号順に A4 判のファイル一冊に綴じて提出してください。資料は返却しませんので、以下の点に注意して現物ではなく、必ずコピーを提出してください。
 - ・ 資格認定証、賞状、成績等の証明書、ノート等を資料とする場合は、現物ではなく、必ずコピーを提出してください。
 - ・ 新聞記事、本、雑誌等を資料とする場合は、自分の活動や成果に関する部分だけをコピーして提出してください。その際、掲載箇所の出典（書名、発行年月日、発行所等）がわかる部分（表紙、目次、奥付等）のコピーも合わせて提出してください。
 - ・ 共同での活動の成果等を資料として提出する場合は、あなたの担当箇所、役割、分担等がわかるように説明を資料内に記載するか、別紙に記入して添付してください。
 - ・ A4 判に収まらない作品やプレゼンテーション等の資料は、作品の写真や動画（10 分以内）等にして説明を付して提出してください。写真の場合は、A4 判の白紙に貼り付け、余白に氏名と資料番号を記入してください。動画の場合は、1 枚の DVD にまとめ、DVD に氏名と資料番号を記入してください。
 - ・ 資料に外国語がある場合は和訳を添付してください。

【AP 試験^注での注意】

AP 試験では、提出された資料に基づいて質問する場合があります。そのため、必ず資料のコピーは手元に残し、AP 試験を受ける当日に持参してください。

注) AP 試験は「アドミッション・ポリシーに基づく試験」のことで、本学が望む学生像に必要な学力を面接の中で測るものです（討論、実技、筆記等を含むことがあります）。

活動報告書

フリガナ		志望する 課程・専攻・ 専修・コース	
氏名			
中学校卒業以降の諸活動	<p>学習活動，文化的・芸術的活動，スポーツ等の競技歴，社会活動等のうち，主なものをそれぞれのおおよその期間とともに記入してください。</p> <p>①</p>		
受賞歴並びに資格・検定等	<p>受賞歴並びに取得した資格や各種の検定の成績があれば，その最高の等級や得点を記入してください。</p> <p>①</p>		
その他	<p>上記以外の特記事項があれば，記入してください。</p>		

受験番号	※
------	---

※印は記入しないでください。

【記入方法について】

- 1) 志願者であるあなた自身が黒のペン又はボールペンを用いて自筆で記入してください（用紙の追加はできません）。自筆での記入が困難な場合はお問い合わせください。
- 2) 「中学校卒業以降の諸活動」欄には、主な活動の内容をおおよその時期とともに箇条書きで記入してください。その際、各活動の番号（①, ②…）を振って記入してください。
- 3) 「受賞歴並びに資格・検定等」欄には、番号（①, ②…）を振って資格・検定の名称、実施団体、種別と成績を記入してください。
- 4) 「中学校卒業以降の諸活動」「受賞歴並びに資格・検定等」欄に対応する資料（例えば、活動内容の成果を示す資料等や資格・検定成績等の証明書等々）を提出してください。その際、資料には各欄の対応する番号と氏名を必ず記載し、番号順に A4 版のファイル一冊に綴じて提出してください。なお、資料は返却しませんので、以下の点に注意して現物ではなく、必ずコピーを提出してください。

・ 賞状、資格認定証、ノート等を資料とする場合は、現物ではなく、必ずコピーを提出してください。

・ 新聞記事、本、雑誌等を資料とする場合は、自分の活動や成果に関する部分だけをコピーして提出してください。その際、掲載箇所の出典（書名、発行年月日、発行所等）がわかる部分（表紙、目次、奥付等）のコピーも合わせて提出してください。

・ 共同での活動の成果等を資料として提出する場合は、あなたの担当箇所、役割、分担等がわかるように説明を資料内に記載するか、別紙に添付してください。

・ A4 版に収まらない作品やプレゼンテーション等の資料は、作品の写真や動画（10 分以内）等にして説明を付して提出してください。写真の場合は、A4 判の白紙に貼り付け、余白に氏名と資料番号を書いてください。動画の場合は、1 枚の DVD にまとめ、DVD に氏名と資料番号を書いてください。

・ 資料に外国語がある場合は和訳を添付してください。

令和6年度愛知教育大学

音楽専修志願者
音楽実技内容届

氏名		※受験番号	
----	--	-------	--

※印欄は記入しないでください。

希望するレッスンの種別	曲名	作曲者名
ピアノ		
声楽		
管打楽器		

希望するレッスンに○をつけ、レッスンで演奏・歌唱する曲名と作曲者名を記入してください。

注)

- ・声楽を選択した場合は、出願書類提出時に伴奏譜を提出してください。
- ・管打楽器を選択した場合は、楽器を持参してください。ただし伴奏は無しとします。レッスンの際には音出しの時間を設けます。